

## 松戸市議会6月定例会が6月1日～23日までの会期23日で開催

### みのわ信矢は一般質問で登壇予定

松戸市議会6月定例会が6月1日から23日の会期23日間で行われます。みのわ信矢も一般質問で登壇する要諦です。

長びく新型コロナウイルスの感染拡大ですが、松戸市議会でも蔓延防止措置の一環として、令和2年3月定例会から44人の全議員をA・B班の2グループに分け、それぞれが交互に出席することでソーシャルディスタンスを取りながら開催しています。そして、一般質問の持ち時間も60分から30分に縮小して実施している状況です。時間が限られているため、質問項目を限定し、そのうえ質問原稿も慎重に言葉を選び、コンパクトな表現で疑問や要望・提案を訴える必要があります。

新型コロナへの対応はもちろん最重要課題ではありますが、しかし市政にはその他にも大切な事柄がたくさんあります。コロナ対策にばかり気を取られ、必要な施策がおざなりになるようなことはあってはなりません。感染防止が必要な中でミニ集会なども実施できない状況ですが、細かく市民の皆さまの声を集め続け、一人一人の願いを形にしていきたいと思えます。



### 大きく注目される相模台構想

前号で、市が市庁舎の移転とともに大開発を計画している「相模台構想」について解説しました。イトーヨーカドー松戸店の裏側にあたるエリアを、国の官舎払下げを受けつつ大規模開発を行う案に、3月議会を経てさらに大きな注目が集まっています。

この計画にたいしては、市議会の各政党・各会派の考えや評価が大きく異なります。いわゆる保守系の会派間にも、現時点では同構想への判断には温度差があります。二つだった保守系会派は、3月議会終了後に3会派へと構成変更がなされ、今後さらに意見の調整が難しくなることが予想されます。

加えて、保守系会派と公明党会派の考えが、いわば正反対であることが明確になったことも、相模台構想の行方を推測しにくくしました。どちらかという消極的な保守系にたいして、積極的な推進を望む公明党会派。左派系の会派の意向いかんによって、とても不安定な状況も想定され、本郷谷市長にとっては難しい舵取りとなるかもしれません。



## みのわ信矢 プロフィール

- 昭和42年 松戸市常盤平生まれ
- 昭和55年 松戸市立常盤平第一小学校 卒業
- 昭和58年 青山学院 中等部 卒業
- 昭和61年 青山学院 高等部 卒業
- 最終学歴 青山学院大学 経営学部 卒業

### 市議会議員としての主な経歴

- 松戸市予算審査特別委員会副委員長
- 松戸市決算審査特別委員会副委員長
- 松戸市立病院建設検討特別委員
- 教育経済常任委員長
- 都市整備常任委員長

### その他の経歴

- ◇中央学院大学 法学部講師（地方自治論）
- ◇介護事業所 取締役
- ◇NPO法人地域政策研究所 理事
- ◇公益社団法人 松戸青年会議所 常任理事
- ◇松戸市子ども会常盤平地区 会長 など

### 趣味

- ◆楽器演奏（エレキギター）、読書、映画鑑賞
- ◆学生時代はバスケットボール部

HPもご覧ください！ **みのわ信矢** **検索**

連絡先 松戸市金ヶ作418-94